



記号	凡	例
NN P1	20.3m ³ /83L蓄集ガス貯蔵容器	バッテリータイプ4本 A型
	0.3m ³ /5L蓄集ガス加圧容器	1本 (AN) PR30A容器弁 (制御盤：起動装置：容器弁/レゾノイド：圧カスイッチ：電源線4本付)
NN P2	20.3m ³ /83L蓄集ガス貯蔵容器	バッテリータイプ3本 B型
■	操作箱	評定品、自動手動切換スイッチ付
●	充満表示灯	評定品
⊙	スピーカ	評定品 ⊙：天井型
⊞	感知器	光電式 2種
Ω	終端抵抗	10KΩ
○	噴射ヘッド (静音形) (室内)	32PNQ
◀	噴射ヘッド (静音形) (床下)	20ZMQ
—	配管	STPG370-Sch40
—	鋼管	φ4×6
—	配線	特記なきは電路凡例参照
⊞	ダンパ後旧弁箱	
⊞	ピストンレリーフ	空調工事
—	φ4不燃弁	
RD	レリーフダンパ	空調工事

特記事項

- 空気呼吸器 (2L型) を1台設置する。
- 自動方式
煙 (光電式) と自動火災報知設備のAND接続とする。
- 制御盤に次の外部端子を設ける。
(1) 移相用

電源表示	1L
接地表示	1L
放電表示	1L
異常異常表示	1L
自動表示	1L
手動表示	1L
- 機器停止用無電圧接点
- 遮圧口面積
設定耐圧強度及びダクト長は規定値とする。
(実際の値が明次表、再計算が必要です。)

※ 別途電気設備工事

- 制御盤までの一次側電源 (アース付) 引込工事。
(AC100V、0.5kVA)
- 制御盤より自火報知までの移相用配管、配線工事。
- 自火報知より制御盤までの火災信号用配管、配線工事。
- 制御盤より動力線までの給、排気停止用配管、配線工事。

※ 別途空調設備工事

- 排出設備
(1) 機械排気の場合は、最低1時間以内に3~5回以上排出すること。
(2) 電源は非常電源を設けること。
(3) 配線は耐火配線とする。
(4) 遮圧・排出場所はGL+3000以上の安全な場所とすること。
- 遮圧口及びレリーフダンパを設けること。

区画番号	1-1	1-2	◇
区画名	サーバールーム (室内)	サーバールーム (床下)	サーバールーム (合計)
面積 (m ²)	90.5	90.5	—
体積 (m ³)	2.45	28	273
係数 (m ³ /m ³)	0.52	0.52	—
消火剤量 (m ³)	1.27,4	14,6	142,0
放出時間 (m ¹ n)	1	1	—
20.3m ³ /83L容器 (本)	—	—	7
主管の呼び径 (A)	—	—	32
噴射ヘッド	型式 32PNQ 個数 2	20ZMQ 1	—
設定耐圧強度 (Pa)	1000	1000	1000
遮圧口面積 (cm ²) (外気風速1.5m/sを考慮し、ダクトで1.7m引く場合)	1168	170	1338

g	EM-HF0.9-2C (PF16)
b	EM-HF0.9-2P (PF16)
c	EM-HF0.9-5P (PF22)
d	EM-HF0.9-10P (PF28)
e	EM-HF0.9-15P (PF28)

※電路は、系統図を参照願います。

